

柳川市バランスシート

(平成20年3月31日現在)

借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	41億4928万円	(1) 地方債	314億5277万円
(2) 民生費	33億5906万円	(2) 退職給与引当金	44億3874万円
(3) 衛生費	39億2711万円	固定負債合計	358億9151万円
(4) 労働費	1億2720万円	(注) 住民一人当たり	48万6243円
(5) 農林水産業費	156億3536万円	2. 流動負債	
(6) 商工費	9億2172万円	(1) 翌年度償還予定額	24億3741万円
(7) 土木費	218億8190万円	(2) 退職手当組合積立金	6億1095万円
(8) 消防費	11億659万円	(注) 不足分	
(9) 教育費	254億5172万円	流動負債合計	30億4836万円
(10) その他	12億8876万円	(注) 住民一人当たり	4万1298円
計	778億4869万円	負債合計	389億3988万円
(うち土地)	126億1253万円	(注) 住民一人当たり	52万7541円
有形固定資産合計	778億4869万円	【正味資産の部】	
(注) 住民一人当たり	105万4660円	1. 国庫支出金	115億6207万円
2. 投資等		2. 都道府県支出金	97億2018万円
(1) 投資及び出資金	30億8653万円	3. 一般財源等	323億8668万円
(2) 貸付金	2954万円	正味資産合計	536億6893万円
(3) 基金		(注) 住民一人当たり	72万7083円
① 特定目的基金	58億2622万円	負債・正味資産合計	
② 土地開発基金	6億8480万円	926億881万円	
③ 定額運用基金	1700万円	(注) 住民一人当たり	
基金計	65億2802万円	125万4624円	
投資等合計	96億4409万円	3. 流動資産	
(注) 住民一人当たり	13万654円	(1) 現金・預金	
3. 流動資産		① 財政調整基金	32億2999万円
(1) 現金・預金		② 減債基金	9億8473万円
① 財政調整基金	32億2999万円	③ 歳計現金	3億8327万円
② 減債基金	9億8473万円	現金・預金計	45億9799万円
③ 歳計現金	3億8327万円	(2) 未収金	
現金・預金計	45億9799万円	① 地方税	3億7400万円
(2) 未収金		② その他	1億4405万円
① 地方税	3億7400万円	未収金計	5億1805万円
② その他	1億4405万円	流動資産合計	51億1604万円
未収金計	5億1805万円	(注) 住民一人当たり	6万9310円
流動資産合計	51億1604万円	資産合計	926億881万円
(注) 住民一人当たり	6万9310円	(注) 住民一人当たり	125万4624円
資産合計	926億881万円		
(注) 住民一人当たり	125万4624円		

※債務負担行為に係る補償等 ①物件の購入に係るもの 6240万円
 ②債務保証及び損失補償に係るもの 2億4214万円
 ③利子補給等に係るもの 16億9789万円
 (注)住民1人当たりの金額は、バランスシートの金額を基準日の住民基本台帳人口7万3814人で割ったものです。

バランスシートでみる市の財政状況

バランスシート(貸借対照表)は、ある一定時点での資産や負債状況を表した報告書です。バランスシートを作成することで、税金などにより整備された資産の内容や、将来返済しなければならぬ負債、返済しなくてもよい正味資産に関する情報の把握が容易になります。

昭和44年度以降の「地方財政状況調査表」のデータを基礎数値としています。このため、昭和43年以前に形成された資産はバランスシートに含まれていません。

「資産」は市民の財産

バランスシートの中身を細かく見ていきましょう。

左側の「借方」にあたる「資産」の合計は926億円です。平成18年度と比べて125万円です。平成18年度と比べて8億円増えました。

バランスシートの左側には市の財産である「資産」、右側には将来世代の負担を示す「負債」と、過去と現世代の負担を示す「正味資産」が表示されています。このとき、左側の「資産」は、右側の「負債」と「正味資産」の合計に必ず一致することになります。

国の基準に沿って作成

バランスシートは、総務省の基準に沿って作成しました。

対象は、「一般会計」に「住宅新築資金等特別会計」と「公共用地先行取得等特別会計」を加えた普通会計としています。

作成基準日は平成20年3月31日です。

①**有形固定資産** 市が保有している土地、建物など779億円です。算出方法は、資産形成に支出された事業費を積み上げ、土地以外の資産には減価償却を行いました。有形固定資産の中には、学校や道路、水路といった、教育・土木・農林水産業費が多くなっているのが特徴です。

②**投資等** 公益法人などへの出資金や、流動性の低い特定目的基金、土地開発基金、定額運用基金です。

③**流動資産** 基金のうち流動性の高い財政調整基金、減債基金のほか、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳計現金、市税などの未収金です。

「負債」はこれからの負担

次に右側の「貸方」にあたる「負債」の合計は389億円です。平成18年度と比べて4億円増えました。

①**固定負債** 基準日における市債残高のうち、流動負債となる平成20年度償還予定額24億円を除いた315億円と、基準日に職員全員が退職したことを想定した場合に支払われる退職金44億円(退職給与引当金)を加えた359億円です。負債の部の92%を占めています。

②**流動負債** 基準日における市債残高のうち、平成20年度償還予定額と退職手当組合積立金の不足額です。

「正味資産」はこれまでの負担

次に、「正味資産」の合計は537億円です。平成18年度と比べて3億円増えました。

①**国庫支出金・県支出金** 有形固定資産の形成に充てられた国、県支出金の累計額です。

②**一般財源** 資産と負債の差である正味資産から、国、県支出金を差し引いた額です。324億円です。正味資産の60%を占めています。

決算に関する問い合わせは、市財政課(柳川庁舎、☎73・8111内線363)まで。

平成19年度のバランスシート

